

不易流行

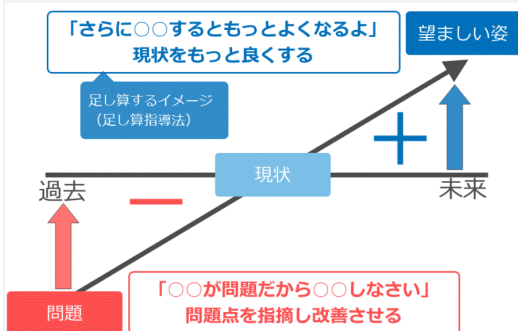
～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.61 (2021.4.27)

令和3年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
生産性の度向上で働き方改革の実現
～和賀組さんで良かったといわれよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

新型コロナウイルス感染症の第4波が猛威を振るう中で当社の59期がスタートしました。1日に開催した経営方針発表会で今年度の方針を皆さんにお伝えしましたが、重点施策事項をもとにそれぞれの事業部門において今期の方針・目標が設定され先日の職員会議で発表されております。また今期からは年間休日を113日としました。働き方改革やワークライフバランスなど時代の流れの中で中小企業としても避けては通れない取り組みであり、特に人材確保という面で年間休日を増やすことは喫緊の課題でありました。何度も申し上げておりますが、労働時間が減ったから出来高や売上も減るということでは意味がありません。社員・協力会社も含めて一丸となって生産性の向上につとめなければなりません。今年度のスローガンにも「生産性の向上で働き方改革の実現」とあります。是非皆さんと英知を結集して実現をしたいと思っておりますし、特に休日出勤や残業時間の削減などは重点施策事項ですのでご理解とご協力をお願いします。



先日ある経営セミナーに参加して「問題構造を知る」ことが重要であると教わりました。問題とは「あるべき姿」と「現状」のギャップであり、問題は複数の「問題点」から成っています。さらに時間軸で分けると①発生型問題（起きてしまったという問題・未達など）②探索型問題（もっと良くしたいという問題・改善など）③設定型問題（この先どうするかという問題・予防措置など）に分類されます。私達は普段何気なく仕事で問題解決に取り組んでいますが、改めて整理してみると様々な気づきがあります

問題には必ず原因があります。現状の把握—原因の追求—対策の実施—歯止めの徹底という手順を常に念頭に置き、朝礼・ミーティング・現場の巡回・安全巡視・月例パトロールあるいは各種会議体の開催など、日々の事業活動の中で解決して行く機会として参りましょう。

59期も良い事業年度となりますように、私も精一杯の努力で経営に取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。また5月の連休明けには専務も正式に着任します。これまで社外で培った多くの知見を駆使してもらうことで、和賀組として新たな展開ができるのではないかと期待しております。

ウッドショック



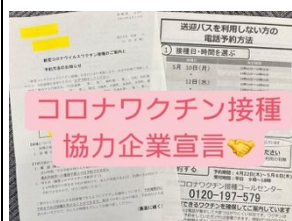
米国や中国で住宅着工数が急増、米松や欧州産の木材供給が追いつかず、またスエズ運河の座礁事故も影響して木材価格が急騰しているようです。コロナの報道であまり知られていませんが、今後の施工・受注・コストに大きな影響が出る恐れがあります。各担当者は木材供給協力業者と良くコミュニケーションを取り、影響を最小限にするようにしてください。

道全協だより



以前寄稿を依頼されていた「道全協だより」という新聞に先月記事が掲載されておりました。この団体は道路整備を求める全国の期成同盟会で構成される協議会で、東北中央自動車道新庄湯沢間の早期全線供用開始を商工会議所として要望するという内容のものです。

コロナワクチン接種特別休暇



いよいよ私達の地域でもワクチンの接種が始まります。当社ではワクチン接種にあたっては就業規則第26条(2)項を適用し、「天変地異、その他やむを得ない理由により会社が必要と認めた時」として特別休暇を付与することにしました。案内を受けた方は速やかに手続きをして接種してください。